

第6回秦野市男女共同参画計画策定委員会 会議録

【事務局】 市民相談人権課市民相談担当

【開催日時】 令和3年1月21日（木曜日）午前10時から11時

【開催場所】 市役所教育庁舎3階ABC会議室

【出席者】

（委員） 松原委員、山谷委員、石井委員、栗原委員、宮永委員

（事務局） 高田くらし安心部長、鈴野課長
櫻井課長代理（市民相談担当）、久保谷

【公開可否】 公開

【傍聴者数】 0人

《審議の経過》

- 1 開会
- 2 くらし安心部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 第4期はだの男女共同参画プランの計画案における諮問について
- 5 議事
 - (1) 議事録について
 - (2) 第4期はだの男女共同参画プランの計画案について
 - (3) 今後のスケジュールについて
- 6 第4期はだの男女共同参画プラン計画案における答申について
- 7 その他
- 8 閉会

《議事内容》

- (1) 議事録について
今回の議事録署名について宮永委員を指名
- (2) 第4期男女共同参画プランの計画案について

事務局 前回の会議での御意見、市民の方からのパブリックコメント、議員からの意見をもとに作成した第4期男女共同参画プランの計画案について説明。前回の最終素案から修正した点について、カラーの方が図表も見やすくなり、多くの人に手に取ってもらえるのではという意見がありましたので、カラーのプランにする予定です。コラムについては、7つに増やし、本文と区別するため枠を入れてフォントのサイズを変えました。また、コラムの中に新型コロナウイルス感染拡大がワーク・ライフ・バランスにもたらす影響も記載した方が良いのではないかとこの御意見もいただき、ワーク・ライフ・バランスのコラムに「新たな日常」の実現や新しい働き方についての内容を追加しています。

委員 これは議員さんからの意見ですか。パブリックコメントですか。

事務局 議員の御意見と市民の方からの御意見と両方ございます。

事務局 コラム4のドメスティック・バイオレンスにつきましては、女性相談だけではなく、男性相談についても記載すべきではないかという御意見も複数ありましたので、男性相談についても記載しております。また、DV被害者だけではなく加害者の相談窓口もあるということも更生の観点から記載した方が良いのではないかとこの御意見もいただきましたので、その旨も記載しております。

市民の方からのパブリックコメントで、コラム中のパープルリボンの意味が分かりづらいとありましたので、パープルリボンの解説を分かり易く記載しました。

幼稚園、小学校、中学校の先生については、女性の割合が多いので、女性の社会参加が進んでいる例として、教員の女性比率についても資料として記載するのはどうかという御意見がありましたので、正規職員の男女別比率についての資料を追加しました。

市の職員に占める割合と管理職に占める女性職員の割合の資料を記載しておりましたが、それだけではなく採用割合もセットで入れた方が分かり易いのではないかとこの御意見をいただきましたので、図表に採用割合を加えております。

主な成果については、文章だけではなく具体的な成果を示す数値があるものについては、載せてはどうかという御意見をいただきましたので、数値を掲載しております。

体系図ですが、目標、基本方針、施策の具体的方向に色付けをして、第

4章においても連動するよう同項目の部分に同じ色付けをし、見やすくしています。

この第4章ですが、基本方針のところに今回SDGsと施策事業の関連を分かり易くした方が良いのではという御意見をいただきましたので、基本方針ごとに当てはまるSDGsのロゴを入れております。

また、プランに非正規雇用の労働者の記載が無いのではないかと御意見をいただきましたので、コラム5女性の就業をめぐる状況で非正規雇用者について記載しております。

図表29事業者の具体的な行動指針の3つ目の箇所について、もっと分かり易い文章にという御意見がありましたので、シンプルに、「全ての事業所が」、と修正しました。

コラム7として、主な取り組みといたしまして外国籍市民相談の充実を挙げておりますので、外国籍市民についてのコラムを追加しました。

以上が今回皆様からいただいた御意見の中で修正した箇所となります。

会長 ただいま説明のありました事項について、御意見、御質問はありますか。

委員 パブリックコメントには何人の方から何件くらいあったのですか。

事務局 パブリックコメントは市民の方1名からいただきまして、内容については4件入っておりました。

会長 皆様お考え中ということで、欠席の委員の方から御質問をいただいておりますので、そちらの方を先に紹介させていただきます。

事務職職員の女性の採用割合や常勤職員における女性の割合はここ数年増え続けておりとありますが、2019年度は25%と減っているため違和感があり、この表現でよろしいでしょうかという質問をいただいております。

委員 仕方ないというか、成績順で採った割合ではないのですか。

会長 説明が少し必要かもしれませんね。

事務局 そうですね。分かりました。

会長 皆様いかがでしょうか。

委員	<p>コラム1で、文章に字の太さが違うところがあるが、これは意図的ですか。</p>
事務局	<p>ここの部分につきましては、現在コロナの関係が多く取り上げられていますので、新たな日常というのを強調するためにあえて太字にしています。</p> <p>他のコラムについても、重要な部分、強調したい部分は太字にしています。</p>
会長	<p>コラム1の新型コロナウイルス感染症の拡大と新たな日常ですが、基本的にワークの説明をされているのですが、テレワークの推進によりワークだけではなくて、同時にライフも大きく変化していると思われしますので、ライフについての説明も入れてはどうでしょうか。</p> <p>図表の14を入れていただいたということですが、ここで幼稚園、小学校、中学校の女性割合ということで、非常に高い数値が示されているわけですが、一つ目は、幼稚園、小学校、中学校いずれも平均的なのか、どこかの教員だけ女性教員の割合が低いということはないのか。二つ目は、なぜ高校を含めないのかということをお教えいただきたい。</p>
事務局	<p>今回は秦野市立の情報を資料として入れています。まず一つ目の御質問については、小学校は中学校に比べて女性教員の割合が多いです。幼稚園は女性教員がほとんどという形になります。二つ目については、市立のみを入れているということで含めていません。</p>
会長	<p>純粹に考えますと幼稚園が多い状態で、小学校、中学校はそこまで高くないけれども、幼稚園の値がそれを引っ張っているように見えるがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>幼稚園は確かに女性の割合が高いです。</p>
会長	<p>おそらく幼稚園の女性比率はすごく高いと思いますので、一緒にしてしまっているのかという疑問があります。</p>
事務局	<p>このページでは、市議会議員と自治会長の女性の比率が低いという表示をしているのと反して、幼稚園、小学校、中学校については女性の割合が多いということを示したため載せさせていただきましたので、会長がおっしゃるように幼稚園を除いて、小、中学校の教員に対する比率を出した</p>

としても、他の組織に比べると社会進出が進んでいるという表示に変更させていただければと思いますがいかがでしょうか。

委員　ここでは根拠は市立が対象ということで、3つの合計はこれだけ高いですよ。このように目指してくださいということを言おうとしているのであれば、分からなくはないと思います。比較して見せたいという意図があるんですよ。

委員　統計としてはどうでしょう。

会長　今回挙げられているのは専門職に就かれている女性ということで、いいのではないかと思います。ただそうは言いましても、幼稚園の女性比率はものすごく違いますので、高い数値が他の比率を引っ張ってしまうことに統計的にはどうなのかなど。

委員　一つの考え方として、テーマは男女共同参画ですので、幼稚園単体で見ると男性参画が必要ということになります。

会長　説明を御指摘のように、幼稚園においては、男性の教員が求められているという説明を入れてはいかがでしょうか。

委員　市の消防などでも最近は女性の方も積極的に雇用していることもあり、幼稚園は対照的です。一方では女性参画が進んでいるが、男性参画は進んでいない。表現は確かに少し変えておく必要があるかもしれないですね。

会長　データとしてはこのままで、幼稚園の場合はこういう数値が出ていて、男性の参画も求められているという説明を入れるというのはどうでしょうか。

事務局　そうですね。幼稚園の男女比率について説明を加えさせていただく形でよいでしょうか。

委員　男女共同参画をめぐる状況という観点から男性というところもキーワードとして必要だと思います。

委員　表紙、背表紙のデザインについてと紙質についてはこれで決定でしょう

か。

事務局 紙質はもっと厚い良い紙になるのですが、カラーにした場合、くるみで出来ないためホチキス止めになります。

会長 中がカラーの方が良いと思います。では、この件に関しては事務局に一任ということによろしいでしょうか。

会長 新しく入れていただいたコラム5ですが、資料の都合上はあると思うのですが、M字曲線の図を入れるとより分かり易いという印象があります。

事務局 M字カーブを入れた方が分かり易いとは思ったのですが、紙面に入りきらず、図表27とどちらかをということで省略いたしました。

会長 図表27ですが、興味深いと思うのは非正規雇用が上がってきたと同時に内閣府のデータでは、正規雇用が男女ともに減少しています。そのため正規雇用が減少しているというデータも入れ込んだら分かり易いと思いました。交差するようになっていくので色々な見方ができると思います。

事務局 分かりました。

委員 図表については単位をしっかりと入れていただいて、もう一度校正をかけていただきたい。

事務局 分かりました。全体の見直しを行います。

会長 コラムはこれで終了ですか。これから加えるものはありますか。

事務局 特にありません。何か他にありますか。

会長 例えば、ダイバーシティとか、ダイバーシティインクルージョンに関するコラムも入れたらかなり完成するのではないかと思います。企業でもダイバーシティはかなり取り組まれていられるので、皆さん興味を持たれるのではないかと思います。特に今はダイバーシティだけでなく、さらに進んでダイバーシティインクルージョンになってきますので、そこまで踏み込まれたら喜ばれるのではないかと思います。

事務局	分かりました。コラムについても出来るだけ多く入れてくださいという御意見がありましたので、ダイバーシティについて調整いたします。
会長	他に皆様からありますでしょうか。もしこの後ありましたら、御連絡いただくことでよいでしょうか。
事務局	そうですね。お電話をいただければと思います。
会長	以上で議事の方は終了となります。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局から今後のスケジュールについて説明。

【閉会】